

地域ネットワークニュース

～平成25年9月の勉強会のお知らせ & 8月の勉強会報告～



第188回 地域ネットワーク勉強会

子どもの精神疾患について ～子どもの精神発達を理解しよう～

講師：公益財団法人鹿島病院 精神科医 佐藤奈美 氏

9月18日(水)
午後7時～午後9時
神栖市保健・福祉会館内
参加費無料

子供と精神疾患というと、何となく自分とは無縁のような感じのする方もいるのではないのでしょうか。実際は、子供の精神疾患の中には見守りだけで解決するものもありますが、見守りだけでは悪化するので早急に専門家に相談しなくてはならないものもあります。

私たち大人の役割は、それらを知識として理解した上で適切な関わりをしていくことです。子供たちは、次世代を担う日本の宝物です。子供の心の発達に関する知識を得ることは、自分が関わる多くのお子さんを救うだけでなく、自分のお子さんと自分自身の心を発達させる一助となるでしょう。

子供の心の発達について勉強していくと、もっと早く知っておけば良かったと感じる方が多いです。子供にとって大切なものは何なのか、子供の心の発達を助けるものは何なのか、大人になった私たちも、かつては子供だったのに忘れてしまっていると思いませんか。

その理由は明確です。子供の頃は狭い世界に生きていて、十分な言葉の力を持たないので整理して解釈できていないことが多いからなのです。

今回は子供の心の発達について一緒に考えてみませんか。子供の心の代弁者として、子供たちが大人に知って欲しいと思っていることを児童精神科医の立場からお話頂きます。



※事前申し込みが必要です。別紙申込書もしくは電話にてお申し込み下さい。

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294

第187回 地域ネットワーク勉強会報告 8月30日開催＜参加者6名＞

精神保健相談での相談対応から

講師：茨城県精神保健福祉センター

～つながることの大切さ～

相談員 小原昌之 氏（臨床心理士）

「つながり」を軸に精神障害を考える機会となった今回の勉強会。今回は精神疾患の中でも特に依存症（アディクション障害）を例に説明頂きました。依存症は人・物・環境との「つながり」の不具合が病の根源であり、いずれの精神疾患にも通じる部分がある障害です。

精神障害関連の初期相談は当事者ではなく、その家族から受けることがほとんどです。依存症を抱える本人は依存の環境を壊したくないので問題の解決を進めたくありません。

家族は、事を小さく収束させようと問題を抱え込んで、親族や友人、職場といった様々な関係からつながりを断ち切ってしまい、依存症者本人と共に孤立してしまうという、悪循環のスパイラルに陥ってしまうことが多くあります。

問題の解決のためには一番の支援者となる家族が問題の視点を変え、まずは家族が楽になるために相談機関や当事者組織と関係（つながり）を築き、本人が主体的に動けるように周囲の環境や関わりを調整していくことが解決の道へ導くステップとなることを依存症ケースから学びました。